

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2016-2017 Rotary International District 2560



国際ロータリー第 2560 地区 2016-2017 年度

ガバナー月信
2016.08.01 Vol. **2**

CONTENTS

ガバナーメッセージ	1	危機管理委員会 報告	10
会員増強・新クラブ結成推進月間によせて		新入会員紹介・訃報	12
・地区会員増強委員長 メッセージ	2	会員数および出席報告	13
・クラブ奉仕委員長 メッセージ	3	コーディネーターNEWS	14
・ガバナー補佐 メッセージ	4	ハイライトよねやま	15
ロータリーグローバルリワードのご案内	8	ロータリー文庫通信	17
山本直前ガバナー 挨拶	9		

2016-17 年度 ガバナー 田中 政春

田中ガバナー事務所 〒940-2108 長岡市千秋 1-253-3 ベルダンビル 1F

TEL : 0258-86-6236 FAX : 0258-86-7068 E-mail : m.tanaka@rid2560niigata.jp

将来のロータリーのために

国際ロータリー第2560地区
2016 - 17年度 ガバナー
田中 政春（長岡西 RC）



本格的な夏の暑さの中、皆様いかががお過ごしでしょうか。

先日、新潟南クラブを皮切りにガバナー公式訪問をスタートしました。皆様のクラブを訪れることによって、それぞれのクラブの雰囲気を感じることのできるたいへん貴重な機会ですので、多くのロータリアンとの交流をととても楽しみにしております。

さて、8月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」です。会員増強は、ロータリー活動の根幹となる重要な課題のひとつであり、新クラブ結成は新たな友情の輪が広がることで、より良い地域づくりにつながる奉仕活動の第一歩となり得るものです。

今年度の会員増強の地区目標は「前年度末の3%以上純増」と致しました。当地区の7月1日現在の会員数は2,097人でしたので、目標達成には63人以上の純増が必要となります。この高い目標を達成するために、まず今月8月は、皆様ひとり一人が職業分類や年齢構成などの現状や多様化するニーズをしっかりと把握し、新入会員の立場や目線で「入会して良かった」と思われるクラブになるにはどうすれば良いのか、見つめる機会にしてほしいと思います。

先月号のガバナー月信のコーディネーターニュースを今一度、ひも解いてご覧下さい。今年度の地域別（日本全体）会員増強計画の概要として、7項目が成果測定の指標とされ、記載されています。その中の1項目に、「全地区が会員増強（入会・参加促進）委員長を任命する」との指標があります。この指標に基づき、当地区の会員増強委員長には、前年度ガバナーとして重責を果たされたばかりの山本和則直前ガバナーに就任していただきました。豊かなスキル、経験、そして熱意を持った山本直前ガバナーが最も適任であります。引続き、山本直前ガバナーには重責を担っていただき、ご難儀をお掛け致します。地区会員増強委員長の山本直前ガバナーの熱意ある導きにより、地区一丸となった会員増強の大きな成果に期待しております。

そして、ジョン F. ジャーム RI 会長が述べている、「単にロータリアンの数を増やすことではなく、ロータリーによる善き活動をより多く実現させ、将来にロータリーのリーダーとなれるロータリアンを増やすことです。」、この言葉の意義を旨として、会員増強を大きく推し進めましょう。

暑さ厳しい折柄、皆様くれぐれもご自愛下さい。

会員増強・新クラブ結成推進月間によせて

会員増強月間によせて

国際ロータリー第2560地区
地区会員増強委員長
山本 和則（新潟南 RC）



今月は会員増強を考える月間です。ロータリークラブは、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたいという思いから、1905年にシカゴで誕生し、現在では200以上の国と地域に広がり、全世界ロータリアン総数は122万人に達しています。ここ数年、総数に大きな変動はありませんが、毎年約12万人が入会し、ほぼ同じ数の会員が退会されているのです。現実問題としまして、会員数の維持がどの地区においても大きな課題となっています。私達2560地区においても同様です。

なぜ、会員増強をそんなに言う必要があるのでしょうか。ただ会員数を増やせばよいというものではないと主張される方もいらっしゃいます。その通りだと思います。ロータリーの会員は皆、クラブの誰かに選ばれて、誘われ、そしてクラブの全会員に認められて入会した人ばかりです。それを踏まえた上で、なぜ会員増強が必要なのかを考えてみましょう。ロータリーはひとたび会員になれば、誰にとっても会員でなければ得られない何かが、必ず得られる貴重な場なのです。例会や様々な機会において、素晴らしい友人に巡り会えたこともあるでしょう。ロータリーの目的、四つのテストなどの理念が職場で役に立ったこともあるでしょう。もしロータリアンでなければ知り合うこともできなかった人たちとの絆は、将に掛け替えの無いものだといえるでしょう。ロータリーは地域社会においても、また世界的規模においても、ポリオ撲滅をはじめ、人類のため、そして世界平和のために、価値あるさまざまな活動をしています。宗教や人種や国境を越えて、これほどの規模で奉仕活動をしている団体は他にはありません。この優れた組織を維持する上で、会員増強維持は、欠かすことのできない重要な活動であり、このことは実は誰でも解っているはずのことです。

入会者がいないという訳ではありません。会員が減少するのは、退会者数が入会者数を上回っているからです。ロータリーの魅力について大いに語り合う、のみならず、ロータリーの魅力を引き出して、それを会員の増強につなげる。今月は、皆さんでそんな活動をする月間にしていきましょう。

会員増強・新クラブ結成推進月間によせて

国際ロータリー第2560地区
クラブ奉仕委員長
浦上 義昭（長岡西 RC）



地域限界内に居住する適格者を発掘し、出来るだけ多くクラブに入会して戴く為 又、現クラブ会員の退会を少しでも防ぐ為に、クラブは内部の拡大・現行規定を十分かつ意図的に精査し、クラブのプログラムを見直し、地元地域社会への奉仕活動を活発化させ、それにより地域へのクラブの認知と尊敬を勝ち取り、ひいては会員増強に繋げて行く活動をすべく 各クラブ会員を効果的に参加させ、個々の才能を十分に発揮させることで存在意義を確認出来、充実したクラブライフを気持ち良く行える様に気を付けて運営するのがよいでしょう。

I 新会員の勧誘について

- ① 潜在的な職業分類を採る為に地域内の事業活動や専門職の人々の業務を的確に把握し、未充填分類を補填する。
- ② 常に地域社会に歓迎される様な奉仕活動を行い、社会の認知を得ることで勧誘活動をスムーズにする。
- ③ クラブ会員や他の地域に移転するような場面が生じた時は新しい所在地のクラブにその会員の十分な情報を提供し、速やかに対策を講じてもらうよう連絡する。
- ④ クラブ例会に入会見込み者を招待し、内容を知って貰う事も大変効果がある。

II 現会員の維持

- ① 改善を要するプログラムと分野について クラブ内において正しい評価活動を行い、常に改善を図る。
- ② クラブ会員の傾向を注意深く観察し、満足すべき状態であるか否かを検討し、更に健全な発展を遂げるように対策を講じる。
- ③ 新会員がクラブに馴染み、会員相互の親睦を図りクラブ会員としての誇りを持てるようにする為 会員の自宅に少人数が集まり和やかに会話することは家族の理解を深める意味でも推奨されるプログラムである——「家庭集会」

III 新クラブの結成

- ① ロータリークラブの存在しない区域に新たにロータリークラブを創設しクラブ数を増加させる事が好ましい。
- ② ロータリークラブの「外部拡大」に貢献する為、既存クラブはその区域を割護するか、或いは同区域に二つ以上の新クラブを結成する。——「アディショナルクラブ」

※これらの他 色々なアイデアを駆使して会員増強や新クラブ結成に向け会員各位の活躍を期待致します。

第1分区ガバナー補佐 吉田 忠廣 (新発田中央 RC)

会員増強はすべてにつながる

私が9クラブを引継の為に、桐生ガバナー補佐様と約1ヶ月間、訪問させていただきました。

色々な雰囲気クラブがありとても楽しくまた緊張があり、以前、お会いした方々もおり、握手等々で語り合いとても素晴らしい時間を過ごさせていただきました。

その中で、会員数の多いクラブを訪問した時のことでした。最初に感じたことはとても活気があるクラブと感心いたしました。食事をしながら明るい声での雑談、会場は和やかな雰囲気です。声は飛び交っており、また会長の点鐘が始まると一瞬座席を立ち上がる音、緊張が走り会場が静まり返る。会長の挨拶には沢山の会員の代表である自信と誇りを持って話をされている姿が素晴らしいです。やはり大勢の会員がいるクラブならではの例会であり、そのクラブは地域・世界に向け大きな奉仕活動を行っており、大勢の会員のいるクラブならではの活動と感心いたしました。

友の輪が広がっているため例会に行き友達を育みたいと事前に会員同士が集まってくる姿はとても素晴らしく魅力があります。そのためか、欠席する会員は少なく、さらに活気があふれるクラブに出来上がっています。緊張の中に友の輪、奉仕と活力あるクラブ作りには、上記のような大きな輪を作らなければならないと感じました。ロータリークラブに賛同した会員同士が友情の輪を広げてこそ、ロータリークラブに入って良かったと思えるのではないのでしょうか。

世界・日本の世が変わっていく中で変わらないことは、友達、友情であり活力あるロータリークラブを皆様ひとりひとりが作り上げて行かなければならないのではないのでしょうか。

最後に、効果的なロータリークラブとして、会員基盤を維持・拡大すると上記に書いてあります。会員の皆様には会員増強＝友達作りと考え、クラブに活気をもたらすために、前に進んでいただきたいと思います。9クラブの皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

第2分区ガバナー補佐 馬場 伸行 (新潟西 RC)

3%以上の純増を達成しよう！

8月は、会員増強および拡大月間です。純増はかなり容易ではないと思っています。

しかしハードルが高いからこそ挑戦し、達成したときの喜びは大きいものです。第2分区のみなさん！会員増強に挑戦しましょう。

R Iは、会員増強は優先課題です。そして、ロータリークラブへの入会者を増やす方法の一つに、一般市民にロータリークラブを広く認識してもらい、入会者を増やす活動に全力を傾けましょう。各クラブは素晴らしい特徴のある奉仕活動を是非一般市民に広報してください。

田中年度では、今まで積み重ねてきた各クラブの(会員増強の秘策)にますます磨きをかけ、各クラブの素晴らしい奉仕活動を前面に出しながら会員増強に邁進するようお願いしたいと思います。

田中年度では、会員増強で(自クラブを強化)し、ロータリークラブの礎を確固たるものにしましょう。

第3分区ガバナー補佐 佐藤 渉 (五泉 RC)

会員増強は和の心で望みたい

田中年度の最重要課題は「会員増強」であります。そこで、第三分区におきましても、田中ガバナーがこの重要懸案事項を深く憂い、早急に対策を取らないと、これからの第2560地区のロータリーが、今の国家の大きな課題の人口減少問題と同じ道を辿るのではないかと危惧されています。私たちガバナーを補佐する立場としては、ガバナーの真意をよく理解し、「会員増強」はもとより「退会防止」を、第三分区内の各クラブの会員の皆さんと思いを一つにして、共にその課題に取り組まねばなりません。

しかし、その一方で実際の現実を見てみれば、地方経済の景気の動向などにより、各クラブの運営及び会員増強・退会防止などの懸案事項について、かなり温度差があるのも事実として受けとめなければなりません。

ではどのように対応したら良いのか？と頭を悩まします。そこで、すぐには結果は出ないかもしれませんが、長期的な視点に立って分区内のコミュニケーションを密に取ることが、私に課せられた先決事項であるのではないかと認識をあらたにしたしだいです。私だけでなく、各クラブの会長・幹事・増強委員長の皆さんと、クラブについての種々な問題点を話し合う機会を増やすことも必要でしょうし、クラブ間で合同例会などをやり会員同志の交流をすることも増強の礎になると思います。また、各クラブにおいて会員の職業分類が地域の現在の事業人口を反映したものになるように、職業分類を再調査を行い、それにより会員による積極的な参加を促すための会員増強計画を立て、魅力あるクラブを目指すために、会員の皆さんのモチベーションを均一化しなければなりません。全てにおいて、この課題はロータリーの「四つのテスト」が基本理念のような感さえうかがえます。気持ちだけ先走らず、足元を見ながら一步一步確実に積み上げ、話し合いそしてお互いの理解を深めながら「和の心」でロータリーを会員の皆さんと共に、より良い方向に歩んで行きたい所存ですので、宜しくお願い致します。

第4分区ガバナー補佐 森山 一理 (加茂 RC)

「♪きっと待っていてくれる！」

第4分区内では、三条にクラブが4つ（三条・三条北・三条南・三条東）あるが、百獣の王が左右に吠えているマークのLクラブも多数存在する中、大健闘を続けている。大変すばらしいことである。分水クラブの美人女性幹事さんは旦那さんが長年入会されていて、交代で入会されてロータリーライフを楽しんでおられる。

私の所属する加茂ロータリークラブは、現在28名（女性3人）である。残念なことに本年現職会員が2名急逝され、女性会員が2名健康上の理由で退会された。最盛期は62名の会員で、例会場は所狭しであった時のことを思い出す。しかし時代は変化する。

さて、会員増強であるが、加茂クラブの木戸信輔会長は昨年度会員増強委員長時代に「三顧の礼（さんこのれい）」を提唱し、「最低3回は大勢で足を運ばないと誠意が伝わらない」と会員増強協調月間で毎週木曜日の例会後、会長・幹事・会員増強委員会を中心に三顧の礼を続けている。

加茂青年会議所理事長の卓話の際、ゲストとビジターで青年会議所のメンバー二人で例会に参加され、その後、会員との懇談会を開催し、本年入会した会員からロータリーに入って感じたことなどをお話ししていただいた。現役の青年会議所の理事長はご自分の任期が本年12月31日までなので、卒業してから考える、と答えた。ビジターの青年会議所メンバーSさんは、青年会議所の増強委員長であったので、ロータリーメンバーのご子息、社員の青年会議所入会をPRした。その1週間後、会員増強委員会で青年会議所Sさんの事業所に「加茂ロータリークラブ」の黄色の旗を持って訪問し入会を勧めた。ロータリーの手引きを渡したところ会員名簿を一人ひとりチェック。「わざわざお越し下さって恐縮です。上司に相談して来週の月曜日にはご返事いたします。」とのこと。後日、田上あじさいロータリークラブとの合同例会の2次会をメンバーのスナックでおこなっていた時の事、青年会議所のSさんが偶然一人で現れて、大勢の加茂クラブメンバーに囲い込まれてそのまま入会を了承した。

会員増強は、永遠のテーマである。「私をロータリークラブに入れてくれ！」といってくる人はまず居ない。(以前一人おられたが、すぐに退会された。)こちらから声をかけなければ、入会は無いのである。

ある知人の女性(市議会議員・塾講師)がLクラブに入会していた。「えっ!Lクラブに入ったの?」「はい、居酒屋さんのママさんがLクラブメンバーで、飲みに行ったらLクラブに入会しないかと言われたので入会しました。結構楽しいですよ。」というのである。私は、「しまったー!」と思った。上条恒彦の歌う木枯らし紋次郎の歌に「♪どーこかでーだーれかがー、きっと待っていてくれるー♪」がある。誰かが必ず待っているのである。声を掛けなければ始まらないのである。

「前向きに明るく楽しく」会員増強を三顧の礼で頑張りましょう!

第5分区ガバナー補佐 伊丹 敏彦 (長岡東RC)

会員増強・新クラブ結成推進月間によせて

会員増強には 会長みずから本気になって、その気になって取り組む事が必要だと思います。増強委員長がいるから、まかせておけば!! やってくれるだろう。と待ちの気持ちでは多くの果実を期待するのは無理かと思えます。

本気になって理事会を動かし、全メンバーに呼びかけはじめて成果があがるものだと思います。リストUPに!! 入会勧誘に! 率先垂範、フットワークよろしく、活動してほしいと思います。

第6分区ガバナー補佐 吉田 武彦 (小千谷RC)

会員増強によせて「私とロータリー」

私は、19年前、JCの先輩に誘われ小千谷ロータリークラブに入会し、先輩は今、親友になりました。

2002年4月~2004年3月まで長岡技術科学大学に留学の二人の米山奨学生のカウンセラーを2年連続で引き受けました。米山奨学生の受け入れを通じて、米山記念奨学会のセミナーで奨学生の生々しい声を聴く機会があり、私はロータリーの一員であることに感動したことを、今でも忘れることが出来ません。

設立以来9年の小千谷 RC 混声合唱クラブは、70 回の出前コンサートを老人養護施設で行って来ました。月に2回くらいのペースで音楽教室の先生の指導を受けコーラスの練習をしています。が決して「上手い」とは言えないレベルです。最初は6名でスタートし、現在はメンバーの奥様も含め10名位で活動しています。私達を受け入れるために養護施設の職員の方々がいろいろ準備をしてくれます。また、私達の一生懸命だけが取り柄の歌声に、一緒に歌い、時には涙を流し、拍手を送ってくれる多くの方々が、奉仕することの喜びと、幸せを教えてくださいました。

その他にも、ロータリーは沢山の事を私に与えてくれました。何よりも多くの親友が出来たことが一番の宝です。みんなロータリーのご縁のお蔭です。

ロータリーで多くの方々と出会い、ロータリーの感動が豊かな人生を切り拓いてくれた。と実感しています。生涯の友となる大切な人が、あなたが声を掛けるのを、待っているかも知れません。ロータリーに入会した時、自分を誘ってくれた誰かが居たことを、思い出して下さい。ロータリーの感動を多くの人に、伝えて下さい。そして、多くの人を、ロータリーに誘って下さい。

会員増強に向け、各会員がすすんで行動し、各クラブの目標が達成されますよう、お願いいたします。

第7分区ガバナー補佐 佐藤 明臣 (新井 RC)

会員増強・新クラブ結成推進月間によせて

2016～17年度のRIテーマ「ROTARY SERVING HUMANITY」「人類に奉仕するロータリー」、国際ロータリー第2560地区田中政春ガバナー地区目標「基本を学び、地域と共に」と、これらの大きな目標を一つ一つクリアしていくためにも、最も会員の増強が重要と考えます。

8月は、会員増強、新クラブ結成推進月間です。会員の増強は、RI第2560地区内56クラブ最大の目標です。各クラブの会長、幹事、増強委員長、そしてそれぞれの各クラブの皆様一人ひとりが、情報の共有を図りながら増強に取り組んでくださいますように、お願い申し上げます。

今日、全世界のロータリアン総数 1,227,719 人、クラブ数 35,188 クラブとなっておりますが、ロータリーの会員は、北米、イギリス、オーストラリア、日本などで減少が続いております。第2560地区第7分区内では、7月にスタートし、まだすべてのクラブの情報の確認がされておきませんが、7月1日入会2名、入会見込数が7名と報告が届いております。2016年6月末の会員数3%以上の純増の達成に向け、会員増強、新クラブ結成の手法として、職業分類の見直し、JC、会議所メンバー、女性会員のリスト、見込会員の親睦例会に、ローターアクト終了者、退会防止などの増強の手法を探りながら、ロータリークラブの魅力とは何か、再確認することが大切です。「クラブ、地区を繁栄させ新会員の入会や新クラブの結成だけでは十分ではありません。私たちが目指すのはロータリアンの数を増やすことではなく、ロータリーによる善き活動をより多く実現させ、将来にロータリーのリーダーとなれるロータリアンを増やすこと」と、ジョンF. ジャームRI会長が掲げておられます。

ロータリーは、知人からロータリーの友人になり、親友になります。更に友情が生まれて純が出来ますと、パストガバナー中條耕二様からメッセージをいただいております。全クラブが地域に根差した社会貢献、国際奉仕活動を積極的に行い、感動と喜びを第7分区8クラブの皆様と協力しながら、楽しく、元気にロータリーの発展に繋がりたいと思っております。

ロータリー グローバル リワードのご案内

国際ロータリー第2560地区
ロータリーグローバルリワード委員長
長谷川 啓一（長岡西 RC）



昨年 2015 年 7 月 1 日に開始した会員特典プログラム「ロータリー グローバル リワード」について、ご案内致します。

このプログラムは、ホテルやレンタカー、航空券、レストランなどでロータリアンが割引を利用できるもので、ロータリアンの皆様の日頃の奉仕活動に対するささやかなお礼の意味を込め、また、ロータリー会員であることの喜びを少しでも感じていただくために開始されました。パソコンやスマートフォン、タブレット型端末からロータリーウェブサイトへアクセスしてご利用いただけます。

現在、世界的にも知られた企業から 1,200 以上の特典ラインアップがあり、様々な分野で割引が提供されています。また、割引だけではなく、会員が購入した一部がロータリーに還元される場合もあります。このプログラムは、3 年間の試験的プログラムとして実施されており、プログラムから得られた純収益はロータリー財団に移されます。現在のところ、このプログラムは順調に進んでおりますが、まだまだ認知度は低く、より多くの会員に利用していただくことを目標にしております。

この会員特典プログラム「ロータリー グローバル リワード」をぜひご利用ください。

『幸せの種をまけば、実りはあなたにも』

ロータリーウェブサイトの My ROTARY にアカウント登録した会員なら「会員コーナー」よりご利用いただけます。まだ My ROTARY に登録していない方は、www.rotary.org/myrotary/ja から今すぐご登録下さい。



Rotary My ROTARY ログインする/アカウント登録

クラブ検索 地域/言語

Rotary My ROTARY アイデアを広げる 行動する ラーニング&参考資料 運営する ロータリー財団 ニュース&メディア **会員コーナー**

ロータリーへの入会
新会員の推薦
再入会/移籍
国際大会
登録

**ロータリー グローバル リワード
特典ラインアップ**

役立ツール
ロータリークラブ・セントラル
ブランドリソースセンター
ロータリーショーケース
ロータリー アイデア応援サイト
ラーニングセンター
フォーラム

各種賞・表彰
各種賞・表彰
寄付者の認証
ご提供アイテム&サービス
Shop.rotary.org
免許取得業者
ロータリーのクレジットカード
ROTARYマーケットプレイス
ロータリーの公式アプリ

ロータリーの雑誌
地域雑誌
リソース&参考資料
アカウント設定のページプロフィール
会員増強
クラブと地区の運営
年間予定表
公式名簿
ブランドリソースセンター

ログインする/アカウント登録 サイトを閲覧



一年を顧みて

国際ロータリー第2560地区

2015-2016年度 ガバナー

山本 和則（新潟南 RC）

初めに、2560地区各クラブ会員の皆様、地区役員、地区委員会の方々、そしてパストガバナーの諸先輩に心からの御礼と感謝を申し上げます。ガバナーを拝命し、ノミネー、エレクトを含め3年間、無我夢中で務めてまいりました。今、皆様から頂いたものに比して、お返しできるものの少なさに恥じる思いです。

ポール・ハリスが最初に描いたロータリーのデザインは、その後会員の拡大に伴い、クラブ、地域、国を越えて広がるに連れて変化してきました。創立111年目の今日、ロータリーはポールの想像を超えて進化し、その結果巨大な組織体となっています。私たち会員は、その組織体の一員であったとしても、組織全体を見渡すことの出来る人は、多分わずかであろうと思います。RIが発信する膨大な情報、ロータリージャパン、地区からのお知らせなど、それぞれに目を通すことは殆んど不可能に近いと思います。ガバナー事務所と致しまして、出来得る限りの情報の収集に努め、それを地区の会員の皆様にお伝えすることを目指して参りましたが、結果はどうであったでしょうか。

公式訪問では、ほぼ全てのクラブを個別に訪問し、会員の皆様の真摯な態度に触れながら、楽しくお話をさせていただきました。会長・幹事さんとの懇談会、例会、クラブ協議会と、各クラブから学ぶことが多く、本当に実りある貴重な体験であり、一つひとつの公式訪問が生涯の記憶遺産となりました。地区行事の集大成である地区大会は、県都新潟・朱鷺メッセにて開催し、多くの会員にご参加して頂き、充実した大会となりました。ソウル国際大会は150余名という海外開催では過去最多のご参加を頂き、初めての2560地区ナイトも開催することが出来ました。韓国で活躍している元米山奨学生のサプライズ参加も嬉しかったことです。また、各クラブは、精力的に奉仕活動に専念され、国内外での社会奉仕活動、国際人材育成の青少年交換プログラム、財団・米山プログラム、補助金プロジェクトなど、数多くの奉仕活動に取り組み、ロータリーを実践していただきましたことに、厚く御礼申し上げます。たくさんのgiftが地域に、世界に届いたと確信しております。

結びに、皆様から頂きましたご厚情ご協力に、深く深く感謝を申し上げ、ガバナーの務めを終えさせていただきます。本当に有難うございました。

お疲れさまでした！！

ロータリーの青少年奉仕活動と危機管理

国際ロータリー第2560地区
危機管理委員会 委員長
石本 隆太郎（新潟 RC）



ロータリー青少年奉仕活動（青少年交換、インターアクト、ローターアクト、ライラ）にはそれぞれ長い歴史がありますが、地区の組織表に「危機管理委員会」が登場したのは、2007～08年の渡辺敏彦ガバナー年度からです。

危機管理委員会の構成は、RI理事会の指導により、その発足時から青少年奉仕活動に携わる上記委員会委員長の他、ガバナーエレクトとガバナー補佐1名、ロータリアン以外の有識者委員3名（女性代表、司法関係者、医師等）、委員長はパストガバナーが務め、ガバナーと地区幹事も参加する、他の地区委員会とはかなり性格の異なる委員会です。

危機管理委員会が地区組織の中に組み込まれるようになったいきさつは、2000年頃から世界各地で青少年交換学生が被害者となる虐待やハラスメント事件が多発し、クラブ会長や地区ガバナーに、1億円近い賠償金が求められた訴訟が発端でありました。

RI理事会は、大切な青少年の身の安全を守るとともに、ロータリー組織を守るため、2006年にロータリー章典 2.110. 青少年の保護の見直しを行い、世界全地区に対して、継続性を重視するプロ集団による危機管理体制の確立と、万一の場合に備えての賠償保険への加入を義務づけることを、青少年交換事業継続のための必須条件としたのです。

我が国では、パストガバナー有志が中心となって、特定非営利活動法人国際ロータリー日本青少年交換委員会（以下、RIJYECと訳す）を立ち上げ、34地区のガバナーの賛同を得て、会員1人当たり100円の支援金（会員9万人であれば900万円）等で、留学生への支援事業と、賠償保険（1億円の損害賠償＝100万円の保険料）への加入が実行されてきました。



当地区においても、危機管理委員会の立ち上げ後、年度初めに委員会を開催し、青少年奉仕に関わる委員会の委員長に対して、危機管理に対する啓蒙活動を行ってまいりましたが、幸い、危機管理委員会を緊急に招集する事態に至ることはありませんでした。

日本34地区より国際ロータリー宛に、青少年交換プログラムの再認定を受けるための補遺資料A～Dが提出され、2015年5月に認定されましたが、地区内クラブ会長への周知徹底が不十分のようでありませす。又、昨年の山本ガバナー年度より、RIJYECへの支援金が会員1人当たり100円から、200円に値上げとなりました。その理由は、RIと全国34地区とRIJYECの関係を、現状のサンドイッチ型から、マルチ地区（多地区合同奉仕活動）への移行準備のためでした。田中ガバナーの報告では、7月1日開催のガバナー会ではマルチ地区化への理



解が十分得られず“先送り”になったとのことです。しかし、当地区からRIJYECに出向している倉重研修部門委員の情報で、RI理事会は、自然災害やテロ事件の多発等で、ロータリーの青少年奉仕活動を取り巻く環境は危険が増しているため、今年の10月頃、インター、ローター、ライラも賠償保険の対象とする通達を出すらしいとのこと。そうなると、マルチ地区への移行は現実味を帯びてまいります。皆様には、できるだけスピーデーに情報をお伝えしてまいります。



新入会員 紹介 (敬称略)

RC名	お名前	入会日	会社名
新 発 田	田上 正幸	2016.07.04	田上歯科医院
新 発 田	小林 斉史	2016.07.25	ユナイテッド法律事務所(新発田オフィス)
中条胎内	須貝 大治	2016.07.01	有限会社 スカイフーズ
村上岩船	板垣 兵一郎	2016.07.04	(有)新潟基礎
村上岩船	渡邊 秀明	2016.07.04	渡邊塗装工業所
新 潟	川下 総一	2016.07.12	(株)新潟総合テレビ
新 潟	鈴木 仁	2016.07.19	日本放送協会新潟放送局
新 潟	山本 健一	2016.07.19	東日本電信電話(株)
新 潟 南	堀 敬介	2016.06.15	(株)堀商店 割烹の宿 湖畔
新潟万代	神初 昭伸	2016.06.06	(株)丸八ジャパン
村 松	鈴木 智明	2016.07.16	(有)鈴木自動車整備工場
三 条	江部 卓城	2016.06.29	東北電力(株)新潟県中央営業所
燕	長谷川 剛	2016.07.21	(株)長谷川鉄工所
三 条 南	栗山 佳大	2016.06.20	(有)日宏住設
三 条 南	中田 雅也	2016.06.20	三井生命保険(株)燕三条営業部
柏 崎	兼田 英明	2016.07.06	(株)BWR 運転訓練センター
柏 崎	行田 宏文	2016.07.06	(株)ブルボン
柏 崎	設 楽 親	2016.07.06	東京電力ホールディングス(株)柏崎刈羽原子力発電所
柏 崎 東	片桐 栄治	2016.07.11	岡三にいがた証券(株) 柏崎支店
柏 崎 東	池田 昌人	2016.07.11	日本生命保険相互会社 長岡支社、柏崎営業部
柏 崎 東	笹川 隆司	2016.07.11	(株)ささ川
長 岡 西	長部 亥史	2016.07.07	有限会社 長部配管
十日町	小林由美子	2016.07.07	住友生命保険(相)
小 千 谷	池部 幸一郎	2016.07.14	東京電力パワーグリッド(株)
小 千 谷	牧野 和也	2016.07.14	(株)伊藤工務店
雪国魚沼	小林 忍	2016.07.05	合資会社 小林自動車工場
十日町北	小川 裕之	2016.07.06	小川自動車(株)
高 田 東	岡田 善博	2016.06.27	(有)ホウライ
高 田 東	滝沢 一成	2016.06.27	(有)K&P 企画
高 田 東	田中 一裕	2016.07.01	大和飲料株式会社
糸魚川中央	木 島 一	2016.07.01	株式会社 木島組
頸 北	伴野 正明	2016.07.01	吉川眼科

第2560地区 2015-16年度 6月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	6月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	／	89.36	355	372	38	17
新発田	4	97.62	92	97	0	5
村上	4	85.61	35	36	8	1
水原	4	80.70	23	25	1	2
中条	4	92.86	33	35	3	2
新発田城南	5	97.01	41	40	5	-1
豊栄	4	87.03	26	27	3	1
新発田中央	5	83.53	48	50	5	2
中条胎内	4	89.85	30	32	6	2
村上岩船	4	90.00	27	30	7	3
第2分区(9クラブ)	／	84.43	450	442	19	-8
新潟	4	84.92	93	92	0	-1
新潟東	4	86.23	64	63	8	-1
新潟南	5	87.19	95	97	0	2
佐渡	5	85.70	7	7	0	0
新潟西	4	76.02	39	37	1	-2
佐渡南	4	92.86	44	41	4	-3
新潟北	4	74.78	45	44	0	-1
新潟中央	3	87.00	26	25	0	-1
新潟万代	4	85.14	37	36	6	-1
第3分区(6クラブ)	／	84.06	130	132	8	2
新津	4	73.75	20	20	0	0
村松	4	90.90	10	10	0	0
五泉	4	91.11	17	18	3	1
白根	5	79.51	44	42	3	-2
新津中央	4	75.81	28	31	1	3
阿賀野川ライン	5	93.30	11	11	1	0
第4分区(11クラブ)	／	77.56	358	362	23	4
三条	5	84.64	51	55	0	4
燕	4	63.09	33	33	1	0
加茂	5	84.38	29	28	4	-1
三条南	4	92.73	49	51	2	2
分水	4	82.44	32	32	3	0
見附	4	75.00	19	20	1	1
吉田	4	81.25	32	32	2	0
三条北	4	84.70	63	65	3	2
巻	4	80.00	9	9	0	0
田上あじさい	4	50.70	7	6	1	-1
三条東	4	74.19	34	31	6	-3

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	6月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	／	83.73	310	320	29	10
長岡	4	84.84	40	43	2	3
柏崎	4	73.16	46	45	0	-1
長岡東	4	92.40	67	69	8	2
柏崎東	4	86.96	54	54	5	0
栃尾	4	77.22	21	21	0	0
長岡西	4	84.70	47	52	6	5
柏崎中央	4	86.81	35	36	8	1
第6分区(6クラブ)	／	84.81	154	156	10	2
十日町	4	98.52	31	34	2	3
小千谷	5	84.57	44	40	3	-4
雪国魚沼	5	73.30	22	24	4	2
十日町北	5	97.27	22	23	0	1
津南	4	83.04	26	27	1	1
越後魚沼	4	72.15	9	8	0	-1
第7分区(8クラブ)	／	84.25	320	319	28	-1
高田	4	99.03	62	60	0	-2
直江津	4	92.85	49	51	4	2
新井	5	86.34	32	32	3	0
糸魚川	5	60.00	41	42	3	1
高田東	4	84.46	39	39	2	0
糸魚川中央	4	77.70	37	35	0	-2
頸北	4	87.50	14	14	1	0
越後春日山	5	86.09	46	46	15	0

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	2,077	人
6月末 会員数	2,103	人
女性会員数	155	人
純増減会員数	26	人
当月平均出席率	83.76	%

Rotary
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2016年8月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
今月号の担当 Zone 2 RC

■ 規定審議会

2016年の規定審議会ではロータリーの歴史上、革新的な内容が多く含まれています。各クラブの裁量が大きくなり、クラブ自体の責任の重さと選択肢が増え、地区およびクラブのリーダーの方々には困惑されていると思います。

規定審議会に出られた日本の代議員の方は日本と世界の乖離があり、価値観、宗教、言語も違い、一つのルールでまとめるのは困難と感じておられました。日本と世界は流れが異なっており、日本が孤立しないよう、批判をするのではなく世界に働きかける行動が必要であると思います。選択された立法案は高齢化していくロータリーを止めるために、若い人の入会を促進するためにハードルを下げた感があります。日本のロータリーはきちんと素晴らしい運営をしています。他の国に示しをつける価値観を持ち続けてほしいと思います。いずれにしても各クラブが主体です。各クラブの裁量権をもってルールを決めてください。

■ 2016-17年度目標

RIテーマは「人類に奉仕するロータリー」です。全体の目標はまさしく戦略計画の3つの優先項目そのものであります。特にロータリー財団100周年の年でもあり、財団目標も盛り込まれています。

■ 戦略計画

地区にもクラブにも戦略計画は必要です。地区とクラブの戦略計画を整合し、ダイナミックなクラブを築きましょう。戦略計画はクラブや地区が将来こうありたいというビジョンを描き、それに添った目標と行動計画を立てることです。そのためには、単年度を超えた長期的視点が必要です。My ROTARYに登録して、役立つ情報からスキルと知識を高めてください。

■ クラブ数 会員数

Zone 1	832	28,734
Zone 2	653	28,210
Zone 3	794	33,008
合計	2,279	89,952

■ My ROTARY未登録者

Zone 1	23,755	82.89%
Zone 2	22,712	80.58%
Zone 3	28,793	87.26%
世界の未登録者は		71.59%

■ BOX登録件数

Zone 1	41件
Zone 2	15件
Zone 3	79件

6月末現在 合計 135件

2016年6月28日現在のClub Centralのデータです。



ロータリーの戦略計画と目標



国際大会に出席したことがあるロータリアンは早期退会はしないというジンクスがあるそうです。2016年ソウルの国際大会には日本から約7,000人の登録を得て、ロータリー史上最高となる43,000人が150カ国以上から集まりました。(正式な最終登録者数は後日、RI本部より発表される予定です。)会場の規模も、アトラクションも、それに応えるものでした。多くのブースがあり、コーディネーターも地域リーダーのブースにてお手伝いをしました。3月シカゴ郊外のエバンストンにあるロータリー本部で研修をしてきた世界中のコーディネーター仲間と再会できました。日本からのガバナー、ガバナーエレクトにも会場でお会いしましたが、残念ながらブースに立ち寄られた方は少数でした。アトランタでも設営されると思いますので、次回はぜひお立ち寄りください。(Zone2 RC 田中正規)

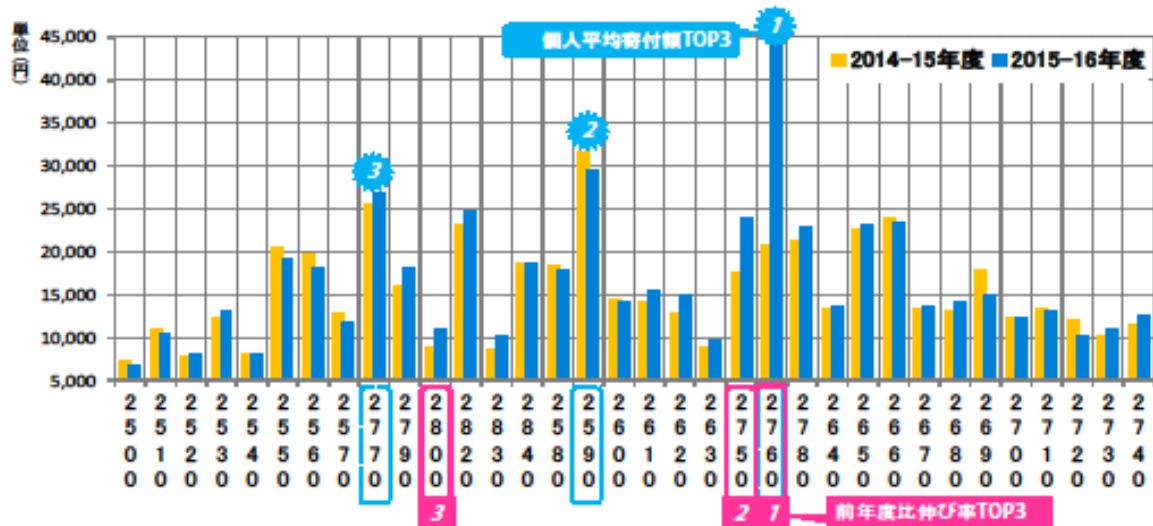


ハイライトよねやま 196

2016年7月12日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 — 2015-16 年度寄付金は 15 億円超 —

2015-16年度の寄付額は約15億7,700万円でした。前年度と比べて11.5%増（普通寄付金0.6%増、特別寄付金16.1%増）、約1億6,300万円の増加となりました。2003年度以来、寄付総額が12年振りに15億円を超え、また個人平均寄付額は統計を取り始めた1982年度以降過去最高額の17,779円となりました。会員皆様のご支援に深く感謝申し上げます。引き続き、新年度もご協力賜りますようお願いいたします。



個人平均寄付額 TOP 3

- ① 第2760地区：44,399円
- ② 第2590地区：29,519円
- ③ 第2770地区：26,870円

個人平均寄付額の前年度比伸び率 TOP 3

- ① 第2760地区：213.3%
- ② 第2750地区：137.2%
- ③ 第2800地区：121.4%

海外7つ目！スリランカに米山学友会が誕生

海外7つ目となる、スリランカ米山学友会の創立総会が6月25日、コロンボ市内のホテルで開催されました。学友約30人のほか、創立に尽力した第2530地区（福島県）や第2700地区（福岡県・佐賀県・長崎県）のロータリアンも多数日本から駆けつけました。菅沼健一在スリランカ日本大使や現地のガバナー夫妻、当会の小沢一彦理事長も出席し、総勢100人を超える盛会に。ラビンドラン国際ロータリー会長（当時）からは温かな祝辞が寄せられました。

創立会長のラクナース・ガマゲさん（1993-95 / 宇部西RC）は「会員は皆、米山の精神をもって国の発展や日本との友情に尽力しているが、一緒になることでより強く活動を広げていける」とあいさつ。日本の地区と協同で行う奉仕活動も計画されており、スリランカ米山学友会の今後の活躍が期待されます。



第 2750 地区に米山学友会が創立！

6月11日、国内の学友会としては33番目となる第2750地区（東京）米山学友会の設立総会が都内で開催され、学友・奨学生24人のほか、ロータリアンら計44人が出席しました。



初代会長には金英奎さん（中国／2011-12／横浜都筑RC）、副会長にはラジュ・バジュラチャルヤさん（ネパール／2008-09／八日市南RC）とチンダー・ローカムサイさん（ラオス／2012-13／小倉西RC）、ほか、幹事・会計・理事・監事が選任され、金会長は、「2750地区米山学友会に来れば、学友も奨学生もロータリアンも心が温かくなり、より前向きな気持ちになるものを持ち帰れる場にしていきたい」と、抱負を語りました。

熊本地震に学友からの支援が続々（2）

熊本大地震から3ヶ月が経ちました。学友たちの支援活動の続報をお届けします。

都内在住のヤップチーエンさん（マレーシア／2011-13／有田南RC）は、5月12～17日、単身で熊本へ行き、テント泊をしながら、散乱した家の片付けや炊き出しなどのボランティア活動を行いました。また、SNSを利用して募金を呼び掛け、食物繊維不足に悩む約100人の高齢者の方々に干し果物やゼリーを現地調達し避難所へ届けました。最終日には熊本東RCの例会に参加して、被災地での活動報告をしました。

関西米山学友会では、ソウル国際大会期間中に開催した5月28日の「学友合同懇親会」会場で、参加者に熊本地震への募金を呼び掛けました。寄付者にはかわいいオリジナルバッジが渡され、多くの参加者が募金に協力しました。また、7月3日の学友会総会でも再び募金を呼び掛け、集まった義援金合計約21万円を今後、熊本に届ける予定です。

7月3日には、岡山に住むアルチャナ・シュレスタ・ジョシさん（ネパール／2001-02／鈴鹿西RC）が、認定NPO法人AMDAの一員として益城町を訪れ、広安小学校の体育館に避難している方々や七夕祭りに参加した約300人に丸いネパール餃子をふるまいました。



モンゴル米山学友会総会が開催されました



2014年に設立されたモンゴル学友会の3回目の総会が6月11日、ウランバートル市内で開催され、約30人の学友のほか、第3450地区ガバナーエレクトやモンゴル帰国留学生会事務局長などゲストが参加しました。

総会では活動報告のほか、次年度の事業計画、新年度からの役員が紹介されました。同学友会では、その一年間に最も活躍した学友へ「最優秀会員賞」を贈っています。今年は、モンゴル赤十字社に勤めるデルグルマー・アルザフグイさんと、4月から再来日し国際医療福祉大学博士課程で学ぶアリョーナ・ツェーソドロルツォーさんが受賞。また、総会後の懇親会ではサプライズダンスのほか、来年アトランタで開催されるロータリー国際大会への参加チケットの抽選があり、2人の学友が当選して羨望を集めました。

文庫通信 (347号)

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリーについて

- ◎ 「ロータリーの本質とは－アンケート回答」 1969 7p
- ◎ 「ロータリーでいう職業奉仕」 神守源一郎 D.358 1972 57p
- ◎ 「ロータリーでいう職業奉仕」 神守源一郎 京都東R.C. 1983 18p
- ◎ 「ロータリーの綱領の変遷と『奉仕の理想』」 先名正四 1989 4p
- ◎ 「ロータリーの立場」 近藤正夫 1974 3p
- ◎ 「大乱亥歳を顧みてロータリーを考える（フォーラム記録）」 佐藤千寿
関西ロータリー研究会 1996 31p
- ◎ 「21世紀のロータリー」 堀場雅夫 関西ロータリー研究会 1996 71p
- ◎ 「世界のロータリー」 入江直祐 1981 8p
- ◎ 「デンバー大会の焦点 RI-RIBI問題」 宮脇 富 1966 1P

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階
TEL(03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日